



杉並区立
浜田山小学校

学校だより 第544号
令和2年度 11月号

はまだやま

校長 伊勢 明子
副校長 森賀 慎一

子どもたちの笑顔が輝く

校長 伊勢 明子

10月には、第5、6学年の移動教室代替学習と第1、2、3、4学年の体育学習発表会がありました。第5、6学年の校外学習の様子は、学校だよりの裏面や浜田山小学校HPの校長だよりに載っていますのでぜひご覧ください。例年の2泊3日の移動教室とはいきませんが、友達や先生と1日同じ時間を共有し、自然に触れ、共に学んだり、遊んだり普段できない経験をし、たくさんの思い出ができました。特に行き帰りのバスの中で、にこにこ楽しそうに過ごす子どもたちの笑顔は、このようなご時世の中でも格別の笑顔でした。

また、第1、2、3、4学年の体育学習発表会では、躍動感あふれる体操、ゲームや遊び、短距離走と体育学習における子どもたちの運動の様子を発表しました。体育は、体力向上、健康増進だけでなく、どうしたら早く走れるか、チームとして競技に勝つことができるのか知恵や工夫を引き出し、また、協力や協働を求められる学習です。知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度がフル回転し育っていきます。これにも、友達と思いきり体を動かし満足する子どもたちの輝く笑顔がありました。

コロナの中でも、感染防止策を徹底し、子どもたちの主体性や可能性を大切にできることを積み上げ、子どもたちの笑顔が輝く今年度の後半を進んでいきたいと思えます。

昨年度末に本校のシンボルツリーである桜の木の状況を子どもたち、保護者や地域の皆様にお知らせしました。桜は、開校当時に移植され70年を超え、近年樹勢の衰えが目立ちました。専門家を招聘した結果、台風等の暴風や大雪の負荷には耐えられなくなるという診断が出ました。見納めになる可能性から3月末に4、5日校庭を開放し満開の桜をたくさんの方々に見ていただきました。子どもたちや保護者はもちろん、同窓生、地域の方々が来られましたが、安全対策を取り伐採せず細々でいいから命や代をつないでいってほしいというご意見が多くありました。その後、区や専門家と相談しながら本校の学校運営協議会（CS）で協議を重ねた結果、伐採はせず、広がりすぎ重くなった枝を剪定し、倒壊の危険性を除去すること、現在のように桜の木の周りを広く立ち入り禁止にし、安全柵を継続すること、現在の桜の子孫を植樹して、次世代を育成しておくこと（もう既に挿し木をしています。）を実施することにしました。

— 11月の生活目標 —

【体をきたえて元気になろう】

浜田山小学校の子どもたちは中休みから放課後下校時刻になるまで、外で元気に遊んでいます。鉄棒やジャングルジム、登り棒などの固定遊具、鬼ごっこやなわとび、竹馬やフラフープ、ボール遊び等、遊びの幅が広がってきています。

現在は児童が密にならず、怪我も少なくなるよう、中休みと昼休みで遊ぶ学年を分けて校庭を使用しています。教員も休み時間に見守りをし、安全にも気を付けています。

また、自分たちで遊びのルールを工夫して遊ぶことは、譲り合いや助け合い等の社会性を育てていくためにとっても大切なことで、「生きる力」につながっていきます。

想像力を高め、人とのかかわりを深め、そして体力もつく外遊び。そんな外遊びを奨励することで、楽しみながら健康な体と豊かな心を育て、心も体も健康な浜小の子にしていきます。